

How is Grammar knowledge acquired through Praxis?

長文読解における文法指導

- 『Praxis（プラクシス）』を通して
「読解のための英文法」への気づきを促す –

石原 健志(ISHIHARA, Takeshi)
(大阪星光学院 英語科 教諭)
tak_iz_zero@yahoo.co.jp



Abstract

背景:

英文法・語彙の学習ができていない？

単語の拾い読み

〈読みの予測〉に基づく〈読解〉ができていない

〈和訳〉さえできない

Praxisの特徴:

〈英文法〉を意識した読解ができる

〈1文の理解〉から〈全体の読解〉へ

〈全体の読解〉から〈作文〉や〈要約〉の活動、および〈内容〉の定着へ

雑読の回避

Praxisを使った結果 … :

「読みながら」の〈文法知識〉が身につく（入試頻出の文法）

➡文構造(SVOC、主述関係)を踏まえた英文理解が可能になる
英文読解につながる〈文法力〉〈語彙力〉を身につける

Introduction: Praxisとはどんな問題集か



執筆者の紹介

内田 諭先生 (九州大学 大学院 准教授)

英語学(認知意味論, コーパス言語学, 語用論),
応用言語学(辞書学, 英語教育学)

・「Praxis(プラクシス)」監修

<http://dd.kyushu-u.ac.jp/~uchida/cvla.html>

・『オーレックス英和辞典第3版』(旺文社, 編集委員, 10月発刊予定),

『フレーム意味論とフレームネット』(研究社, 共著), 『英語教師のための
コーパス活用ガイド』(2014, 大修館, 共同執筆)ほか



執筆者の紹介

石原 健志 (大阪星光学院 英語科 教諭)

日本語を母語とする英語学習者の英文法処理プロセスと言語学の知見を援用した学習英文法の構築。

・『英語長文読解 プラクシス(Praxis)』執筆

・『ベーシックジーニアス英和辞典』(大修館書店, 項目執筆 11月刊行予定)、『名作で身につく心に残る英単語』(くろしお出版, 共著, 年内刊行予定), 『テオリアシリーズ』(Z会, 共著), 『受験英語をバージョンアップする —ずっと使える英語力への15の Tips—』(開拓社, 単著), 『入試実例 コンストラクションズ』(三省堂, 編著), 『全国大学入試問題正解』(旺文社, 解答解説執筆)ほか



Introduction: Praxisとはどんな問題集か

読解へのアプローチ

– 内田&石原

〈読解のための

Praxis

Level 1 Stage 1–

Level 4 Stage 1–

Ⅰ入試にこう出る

▲前置詞が随伴するパターンで注目の形〈the extent to which S+V ...〉

Ⅰ入試にこう出る

◆クジラ構文：no more A than B「B（がAでないの）と同様にAではない；BほどAではない」

noには‘反対’の意味を表す働きがある。例えば、Takeru is no fool. は「タケルは愚かなんてとんでもない。」→「タケルは賢い。」という意味になる。no more A than Bにはこのnoの意味が働いており、「BよりAなどということはない」→「B同様Aではない；BほどAではない」という意味が生まれる。



(8) Fairtrade products are usually **no more** expensive **than** other products.

（フェアトレードの商品は、通常、他の商品と同様に高くはない。）〈高崎健康福祉大〉

no more expensive than ~ は、more expensive（より高い[高価だ]）をnoで否定するので、「~より高いということはない」→「~と同じくらい高くない」という意味になる。ここでは「other products が高価ではない」ことが前提となって、それと同じようにフェアトレード商品も高価でないことを述べている。

Introduction: Praxisとはどんな問題集か

問題編:

- 入試問題の設問を残しつつ〈英語学習〉を促進させる設問を書き下ろし
- 〈弁別〉のための問題ではない

STAGE 3-6

テーマ 文化・芸術

京都大学[682 words]

得点

/ 50 点

次の英文を読んで、以下の設問に答えなさい。(50点)

- ① The properties of a piece of matter are defined not by the basic *building blocks themselves but by the way they are organised into hierarchies. ⁽¹⁾This paradigm — where structure defines function — is one of the overarching principles of biological systems, and the key to their innate ability to grow, self-repair, and morph into new functions. Spider silk is one of the most remarkable examples of nature's materials, created from a simple protein spun into fibres stronger than steel.

1. 下線部(1)を次の書き出しに続けて日本語に直しなさい。(9点)

構造が機能を規定するというこのパラダイムは、_____

Introduction: Praxisとはどんな問題集か

解答・解説編:

- 見やすい構造図、正確な解説、入試に必要な知識の解説、答案例

解答と解説

1. **解答** 海外で、英語力を向上させることと文化の多様性を学ぶことの両方に興味がありますか。

文の構造 (v)Are (s)you (c)interested (前)in

be interested in ~ 「~に興味がある」⇒①後ろに〈名詞・動名詞を予測!〉

both (A)improving your English skills

A = 「自分の英語力を向上させること」

and (B)learning about cultural diversity

(副)overseas?

答案例

× 英語力を向上させることと、海外で文化の多様性を学ぶことの両方に興味がありますか。

改善ポイント

副詞 overseas はここでは both A and B で結ばれる improving ... と learning ... という2つの動名詞を修飾する点に注意。答案例のように、learning about cultural diversity のみを修飾するわけではない。どのように訳すと文脈の中で最も適当な訳になるのか、全体を見ながら考えよう。

skills and (B)learning about cultural diversity をとらえ、「自分の英語力を向上させること」と「文化の多様性を学ぶこと」の2つの要素に「興味がある」と述べている。

3. **解答** b. spend your time enjoying

空所 (3) は、can が前にあるので動詞の原形で始まるものが入るとわかる。これに合致するのは、選択肢 b. のみである。動詞 spend は、spend 図 (on) doing の形で「時間を doing するの」に費やす」を意味する。

4. **解答** あなたは芸術家、映画製作者、ダンサー、ミュージシャンがここで生活し、働いているのを目にするでしょう。

ポイント 〈知覚動詞 see O doing [O が…しているのを見る (目にする)]〉

ポイントは You see artists, filmmakers, dancers and musicians (among) living and working ... である。「O が doing している」の形で訳すとよい。

文の構造 Some people vcall Los Angeles the "Creative Capital of the World."

Check! ① (SVOC (第5文型) の特徴)

SVOC の特徴は、O と C の関係において「O が C だ」のように、O の〈様子・状況〉について C が説明することである。今回は Los Angeles が the "Creative Capital of the World" だと述べている。call O C (O を C と呼ぶ) という〈動詞の型〉も押さえておこう。

Check! ② (第5文型をとる動詞)

call O C のように第5文型をとる主な動詞は次のとおり。appoint (O を C に任命する)、choose (O を C に選ぶ)、elect (O を C に選挙で選ぶ)、name (O を C と名付ける)

Introduction: Praxisとはどんな問題集か

サポートノート:

- インプットからアウトプットへ
- 語彙・リスニング・文法解説・要約・リテリング・自由英作文
- 長文に出ていた語彙・文法を内在化させるタスク

STAGE 1-1

1. Words & Phrases

次の単語・表現の意味を日本語で答えなさい。適宜、辞書も参照しましょう。

(1) I.1 both A and B	(11) I.9 explore	つポイントを押さ
(2) I.1 improve	(12) I.9 location	
(3) I.2 learn about ~	(13) I.12 more than ~	education and

Let's Try: State your opinion

次の質問に英語で答えなさい。

Which place do you want to visit in Los Angeles, the Hollywood Sign, Universal Studios Hollywood, or Santa Monica beach? What do you want to do there? Tell us your opinion in English in about 40 words.

Helpful Hints!

本文にも出ているthe Hollywood Sign, Universal Studios Hollywoodでどんなことができるか、インターネットなどで調べてみよう!

【NOTES】

3. Dictation

(1) The city is _____

(2) For _____, _____ scuba d

(3) _____ Angeles _____

(4) You will learn _____ traditions of _____

(5) _____

そのまゝ小テストへ

(3) You _____ s- _____ your _____ the beautiful _____ of California.

(4) 140 以上の人々が、ここロサンゼルスでともに働き、勉強しています。People f- _____ o- _____ 140 c- _____ are working or studying t- _____ here in Los Angeles.

授業で使うなら: Praxisを授業で使うなら



授業で使うなら：各項目の有機的むすびつき

英文法ビジュアライズ: 授業で〈導入〉として使ってほしい
〈視覚的〉な英文法を目指して…

Ⅰ 英文法ビジュアライズ

◆ 基本 5 文型

基本5文型は、**S**「だれ・なにが」**V**「どうする」**O**「だれ・なにを」**C**「どのような」という4つの要素の組み合わせで決まる。**英語は「語順」が大切な言語**なので、文型を理解することが正しい英語の理解につながることを押さえておこう。

	だれ・なにが／は	…する（である）	だれ・なにを	どのような
品 詞	名 詞	動 詞	名 詞	形容詞・名詞
第1文型	主語 (S)	動詞 (V)	—	—
第2文型	主語 (S)	動詞 (V)	—	補語 (C)
第3文型	主語 (S)	動詞 (V)	目的語 (O)	—
第4文型	主語 (S)	動詞 (V)	目的語 (O ₁) / 目的語 (O ₂)	—
第5文型	主語 (S)	動詞 (V)	目的語 (O)	補語 (C)

授業で使うなら：読解のための英文法（明示的知識）

読解のための英文法

◆ 第4文型と第5文型の読解の仕方

英語と日本語を比較した時、主語や目的語を表す方法が異なることに気がつく。英語は「語順」で、日本語は「格助詞」（「が」、「を」など）で主

gc2. 下線部 (gc2) は次のうち、どの文型にあたるか、

- a. SVO (第3文型) b. SVO₁O₂ (第4文型)

gc2. 解答 c. SVOC (第5文型)

文の構造

(s)Some people (v)call (o)Los Angeles (c)t

Check! ①

〈SVOC(第5文型)の特徴〉

SVOCの特徴は、OとCの関係において「Oが説明することである。今回はLos Angelesを説明している。call O C (OをCと呼ぶ) という

Check! ②

〈第5文型をとる動詞〉

call O Cのように第5文型をとる主な動詞は、choose(OをCに選ぶ), elect(OをCに選挙で選ぶ), name(OをCと名付ける)

辞書指導
例文作成
総合英語参照

個人でもグループワーク
でも文法学習ができる

SVOC

call

appoint

choose

elect

name

OC

「OにC(主に名称・職柄)を与える」系統の動詞

Lesson 1 – 1: 読解のための英文法 (明示的知識)

ワークシート例

Lesson 1-1

g.c. 2 では〈5 文型をとる動詞〉では何がありますか？ その動詞について辞書を使って例文を作りましょう。

5 文型の動詞

単語
フレーズ
文・文型
段落
文章

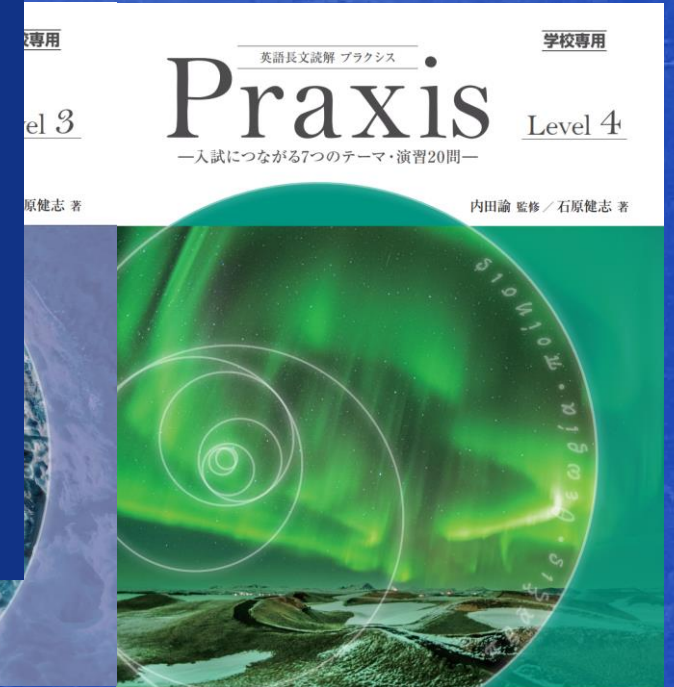
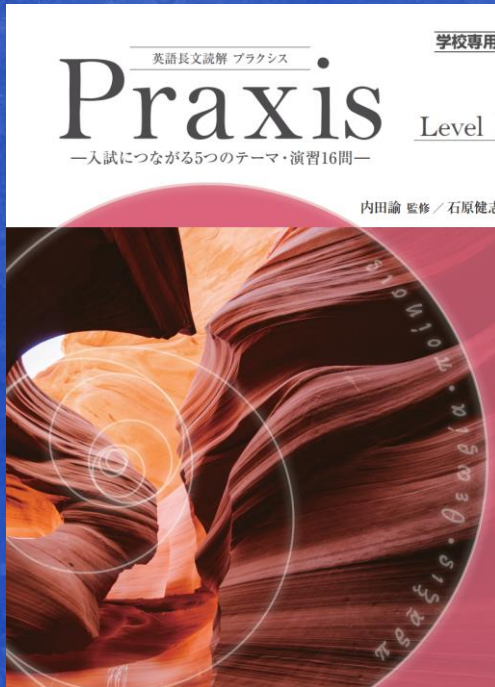
それぞれのレベルでの理解を進めていく

Praxis L3-3: 英文法の気づきをうながすワークシート

英文法のポイントに気づきをうながす授業づくりに必要なもの...

読解における〈文法学習〉

メリットは？
文法 単元別ではないので
多様な文法に触れられる



Praxis Level 3: テキスト(文章)の中の英文法

英文法のポイントは解答解説の中に...

STAGE 3-3

解答と解説

1. 解答

constitute science

下線部(1) do

が主語と対

比の節内で主

語をなせるが、

省略は簡潔な英

文法(分詞構文)を

目しよう。ここ

語と分詞が受格

(being+過去分

詞) our question

this way is 「

る。× To und

は簡単なこと

3. 解答

科学とは、私た

Surely science

we live in

Thisが指す内

ポイントとは

understand以

る試み」とま

live in 以下は

科学とは、私

(to不定詞の用

明している。こ

解り。

4. 解答

宗教：世界を

古聖賢・古い

歴史：過去に

第2段落第

第2段落第

第2段落第

5. 解答

多くの科学が、

下線部(4)の理

論「という

do employ of

語のつづり。目

の意味とともに

that are not

英文解説と全訳

《段落1》

①What is science?

②This question may seem easy to answer: everybody knows

S is easy to do [Sは…しやすい] answerの目的語はThis question

that subjects such as physics, chemistry, and biology constitute

A such as B [例えばBのようなA] BはAの具体例となる

science, while subjects such as art, music, and theology (1)do

not. 対比「…の一方で」

後ろにconstitute scienceが省略

③But when as philosophers we ask what science is, that is not

the sort of answer [we want]. ~として S V O = 前文のsubjects such as以下

④We are not asking for a mere list of the activities [that are

usually called 'science']. 先行詞 [単なる活動のリスト] 関代

⑤Rather, we are asking what common feature all the things [on

that list] share, i.e. what it is that makes something a science.

そのリストの V 換言「すなわち」強調構文(分製文)

⑥(2) this way, our question is not so trivial.

(Understood) 受動態の分詞構文 些細なこと：簡単なこと

ハンドアウトのための 〈文法ポイント〉は 解答解説から選ぶ

英文解説と全訳

《段落1》

①What is science?

②This question may seem

easy to answer: everybody

knows

that subjects such as physics,

chemistry, and biology constitute

science, while subjects such as art,

music, and theology (1)do

not.

③But when as philosophers

we ask what science is, that is not

the sort of answer [we want].

④We are not asking for a mere

list of the activities [that are

usually called 'science']. 先行詞

⑤Rather, we are asking what

common feature all the things

[on that list] share, i.e. what it is

that makes something a science.

⑥(2) this way, our question is

not so trivial.

(Understood) 受動態の分詞

構文

些細なこと：簡単なこと

① Similarly, astrology and fortune-telling are attempts to predict

the future, but most people would not describe these activities

as science.

② Or consider history.

③ Historians try to understand and explain what happened in the

past, but history is usually classified as an arts subject, not a

science subject.

④ As with many philosophical questions, the question 'what is

science?' turns out to be trickier than it looks at first sight.

⑤ Many people believe that the distinguishing features of science

are that it is based on evidence and that it is a systematic way of

investigating the world.

⑥ Similarly, astrology and fortune-telling are attempts to predict

the future, but most people would not describe these activities

as science.

⑦ Or consider history.

⑧ Historians try to understand and explain what happened in the

past, but history is usually classified as an arts subject, not a

science subject.

⑨ As with many philosophical questions, the question 'what is

science?' turns out to be trickier than it looks at first sight.

⑩ Many people believe that the distinguishing features of science

are that it is based on evidence and that it is a systematic way of

investigating the world.

Praxis Level 3: テキスト(文章)の中の英文法

テキストの中の英文法に気づきを促すために…

50分の授業で〈読解部分〉をどう授業するか？

①テキストを見ながら**音声確認**(発音が分からない箇所にラインマーカーで線を引く)。
必ず**段落毎**に。穴埋め部分は「なんて言った？」などとそのまま確認。

次の英文を読んで、以下の設問に答えなさい。(50点)

NOTES

① What is science? This question may seem easy to answer: everybody knows that subjects such as physics, chemistry, and biology constitute science, while subjects such as art, music, and *theology ⁽¹⁾do not. But when as philosophers we ask what science is, that is not the sort of answer we want. We are not asking for a mere list of the activities that are usually called 'science'. Rather, we are asking what common feature all the things on that list share, i.e. what it is that *makes* something a science. (2) this way, our question is not so trivial.

Praxis Level 3: テキスト(文章)の中の文法

テキストの中の英文法に気づきを促す…

② 注目させたい英文に下線を引き、番号を振る。

(時間数により項目の加減。扱いきれないものはPraxis の〈解説〉を読むように指示をしたり、プリントを作ったりして、生徒が学習するポイントをまとめる)

次の英文を読んで、以下の設問に答えなさい。(50点)

① What is science? ② This question may seem easy to answer: everybody knows ③ that subjects such as physics, chemistry, and biology constitute science, while ④ subjects such as art, music, and *theology ⑤ do not. But when as philosophers ⑥ we ask what science is, that is not the sort of answer we want. We are not asking for ⑦ a mere list of the activities that are usually called 'science'. Rather, we are asking what common feature all the things on that list ⑧ share, i.e. ⑨ what it is that makes something a science. ⑩ (2) this way, our question is not so trivial.

NOTES

名詞句
助動詞
動詞
修飾語句
接続詞
重要な文

Praxis Level 3: テキスト(文章)の中の文法

テキストの中の英文法に気づきを促す…

- ② 今回挙げた文法ポイントは、授業で扱うほぼ最大の項目(実際には減らす)
これらのポイントについて<ハンドアウト>を作ると授業がすすめやすい

次の英文を読んで、以下の設問に答えなさい。(50点)

① What is science? ② This question may seem easy to answer: everybody knows ③ that subjects such as physics, chemistry, and biology constitute science, while ④ subjects such as art, music, and *theology ⑤ do not. But when as philosophers ⑥ we ask what science is, that is not the sort of answer we want. We are not asking for ⑦ a mere list of the activities that are usually called 'science'. Rather, we are asking what common feature all the things on that list ⑧ share, i.e. ⑨ what it is that makes something a science. ⑩ (2) this way, our question is not so trivial.

NOTES

- 名詞句
- 助動詞
- 動詞
- 修飾語句
- 接続詞
- 重要な文

Praxis Level 3: テキスト(文章)の中の文法

テキストの中の英文法に気づきを促す…

② 今回挙げた文法がこれらの中で最も重要(実際には減らす) 英訳がすすめやすい

英文解説と全訳

《段落1》

① What is science?

② This question may seem easy to answer: everybody knows
S is easy to do [Sは…しやすい] answerの目的語はThis question
 that subjects such as physics, chemistry, and biology constitute
A such as B [例えばBのようなA] BはAの具体例となる
 science, while subjects such as art, music, and theology (1) do
对比「…の一方で」
not.

後ろにconstitute scienceが省略

③ But when as philosophers we ask what science is, that is not
～として S V O = 前文のsubjects such as以下
 the sort of answer [we want].
先行詞 S V

④ We are not asking for a mere list of the activities [that are
先行詞「単なる活動のリスト」 ↑ 関代
usually called 'science'.
「科学」と通常呼ばれている

⑤ Rather, we are asking what common feature all the things [on
O S ↑
 that list] share, i.e. what it is that makes something a science.
そのリストの V 換言「すなわち」強調構文(分製文)

⑥ (2) this way, our question is not so trivial.
(Understood) 受動態の分詞構文 些細なこと・簡単なこと

表現! (強調構文! サポートノート p. 35)

Sに置いている!

)?

か?

文の読解に役立つポイントを押さえて

a science

ski bought [合] yesterday.

[合] yesterday?

に移動し、疑問文

の影になっていることに注意。

⑥ 文頭から過去分詞の時…?

(文法のポイント)

Understood this way the understood は (過去分) 詞!

⇒ 「… (理解された)」 という受動態(受け身)の意味になる!

つまり Understood this way はこのように (理解される) と!

⇒ ではなく理解されるの? (Understoodの意味上の主語は?)

① Our question ② a science

ヒント! 分詞構文の意味上の主語は主語の主語!

舞! Our question の具体的内容を指す英文を教えてください。

O

2. 問題 a. Understood

分詞構文 (受動態) 現在分詞や過去分詞を置いて分詞構文を作る場合、主語の主語との関係に注目しよう。ここでは主語の主語がour questionなので「私たちの問いが理解される」のように主語と分詞が受動態(…される)の関係にあることに気づくことが大切である。受動態の分詞構文は(being+過去分詞)で表されるが、頭にbeingがくる場合は、beingが省略される傾向にある。our question being Understood this way, our question is not so trivial.

this wayは「このように」なので、「私たちの問いがこのように理解されると」という意味になる。× To understand this way (この方法を理解するために)とすると、「私たちの問いはそれほど簡単なことではない」という主語とつながらない。

Praxis Level 3

Lesson 3 Stage 3

Grammar Practice

① tough 構文

This question may seem easy to answer 「この質問は(きたえる)のが(簡単)に思える」

(文法のポイント)

to answerの目的語を主語である(This question)が兼ねる。

形式主語構文 It is 形容詞 to do に書き換え可能!

書き換えてみよう

② everybody / everyone は…?

Everybody knows that …

(文法のポイント)

everybody / everyone は単数扱いが原則なので、動詞には三単現の (- (e)s) をつける。

③ S+V, while s+v

… everybody knows that subjects such as … constitute science.

while subjects such as … do not.

(文法のポイント)

while s+v は「s+v する(一方で)」という意味で(対比)を表す。

④ 繰り返しを避けるための省略

(文法のポイント)

do not の後に省略された要素は(直前の同じ要素から復元)

動詞を探そう⇒ (constitute) 意味は「…を(構成)する」

解答と解説

1. 問題 constitute science

下線部(1) do not の後は繰り返しを避けるために省略されている。ここではwhile(対比)が主語と対照的なことを述べているが、主語と同じ(動詞+目的語)を繰り返さないが起きている。よって、do notのあとに主語のconstitute scienceが省略されている。

対比の節内で主語と対照的な内容を述べる場合、省略が起こる

The former directly affect our lives while the latter do not. (前者は私たちの生活を与えるが、その一方で、後者はそうではない。) (東京都立大) 省略は無意味な文章を避けるために使われる。

Praxis Level 3: テキスト(文章)の中の文法

一番のメリットは
〈分散的繰り返し〉

例: 関係詞や分詞構文は何度でも出てくる
⇒ その都度、プリントで項目化!

だんだんタスクをむずかしくしても良い
⇒ 結果的に「いきなり和訳」も可能

忘れたら前のプリントを見る、
など振り返り学習も可能。

ence is, ⑤that is not ⑥the sort of answer we

、その一方で、美術、音楽、神学といったものはそうではな

と捉えよう!

関係代名詞の[省略]の合図!

y called 'science']

all things on that list share, ...

説明したい
文法ポイント

Praxis Level 3: テキスト(文章)の中の文法

次の英文を読んで、以下の設問に答えなさい。(50点)

NOTES

① What is science

that subjects study

Grammar Practice

① tough 構文

This question may

い」

〈文法のポイント〉

to answer の目的語

形式主語構文 it is

書き換えてみよう

名詞句

思えるかもしれない

tough構文の特徴は何か？

Sがto doのOを兼ねる(かなり特殊)

日本語にできるか？

書き換えできるか？

⇒形式主語構文を理解しているかの確認

Praxis Level 3: テキスト(文章)の中の文法

次の英文を読んで、以下の設問に答えなさい。(50点)

① What is science? This question may seem easy to answer ^② everybody knows

that subjects such as physics, chemistry, and biology are not as easy as they seem.

② everybody / everyone は…?

we are asking

we are asking

is this

trivial

NOTES

名詞句

Everybody / everyoneの単数扱いは
〈英作文〉にもつながる。
they / their / themで
受けることも指導できる。

-(e)s)をつける。

Praxis Level 3: テキスト(文章)の中の文法

次の英文を読んで、以下の設問に答えなさい。(50点)

① What is science? This question may seem easy to answer: everybody knows that subjects such as physics, chemistry, and biology constitute science, while

NOTES

名詞句
助動詞
動詞
修飾語句
接続詞
重要な文

従属接続詞の働きの確認
「対比」という〈機能〉に気づけるように

whileの単語の意味も…

シンプルな問い立ても意識する

Praxis Level 3: テキスト(文章)の中の文法

次の英文を

① What subjects we ask asking for we are asking for is that trivial.

④ 繰り返しを避けるための省略

＜文法の

do not

動詞を探

解答と

1. 解答

ポイン

要素の復元
単語の意味確認

Praxis の解答への誘導
+ α の知識の紹介

響を与えるが、その一方で、後者はそうではない。)〈東京都立大〉
省略は簡潔な英文を書くために使われる。

(対比を表す
いように省略

生活に直接影

Praxis Level 3: テキスト(文章)の中の文法

次の英文を訳す But when as philosophers we ask what science is, ⑤that is not ⑥the sort of answer we

① What is wanted
that subject ⑤ the
subjects science
we ask what
asking for
we are asking
is that main
trivial. ⑥ the

＜文法＞
前文の
〔物理
いとい
＜文法＞
we want
⇒
「
名
th
か

thatなど指示語を明確に捉える
＝ 和訳の練習にもなる

関係代名詞の機能
(後置修飾)の把握



意味理解へ

くり返し確認できる

NOTES

名詞句
助動詞
動詞
修飾語句
接続詞
重要な文

Praxis Level 3: テキスト(文章)の中の文法

次の⑦ that の働きは何でしょう？

① W
that
subj
we a
askin
we a
is th
trivia

「文法のホ
名詞 tha
a mere l
that は()
日本語に

thatの識別
関係代名詞のはたらきの確認

日本語での「和訳」というアウトプット

that are 以下を先に、a mere list ...を後にする

「(通常「科学」と呼ばれる) 活動の単なるリスト

Praxis Level 3: テキスト(文章)の中の文法

次
① ⑧ share の主語は?

①
th <文法の

su
we V を見つ

as
we Rather

is share of
tri

1) that

2) all things

3) what common feature

4) what から list まですべて

主語の特定
what S+V

whatが疑問詞か関係詞

at list share, ...

Praxis Level 3: テキスト(文章)の中の文法



4. Tips for Reading & Grammar

空所に入る言葉を考えて、英文の読解に役立つポイントを押さえましょう。

強調構文(分裂文)のwh-疑問文
語順への注意をうながす

日本語へのアウトプット
サポートノートへの誘導

本文では、we are asking ... に続く間接疑問の形になっていることにも注意。

Praxis Level 3: テキスト(文章)の中の文法

2. 解答 a

ポイント

長文読解で繰り返し出てくる分詞構文
態と意味上の主語はくり返し意識させる

Our questionが何を表すか
➡内容確認の徹底

関係に注
ように主
構文は
ある。

意味にな
はそれ

難！ Our question の具体的内容を指す英文を教えてください。

○

Praxis Level 3: テキスト(文章)の中の文法

段落ごとの音声確認：5分から10分

指示:読み方が分からない・うまく聞き取れないところに下線

目的:テキスト全体の把握、音と文章の連結

文法項目チェック：20分から25分

指示:一緒にハンドアウトを埋めよう、クラス・個人とのインタラクション、
文法が意味につながることを意識しよう

目的:<音>で何となく認識した文章について、どんな文法(規則)が働いているかの確認

解答確認：10分から20分

指示:予習を課した場合は、文法チェックを踏まえて解答の修正を促す。

目的:最終目標は「自力で解答」。説明を受けて、解答が作れるのなら、
それでよい。

まとめ

Praxisの特徴:

〈英文法〉を意識した読解ができる
〈1文の理解〉から〈全体の読解〉へ
〈全体の読解〉から〈作文〉や〈要約〉の活動、および〈内容〉の定着へ

Praxisを使った結果 ... :

「読みながら」の〈文法知識〉が身につく (入試頻出の文法)
➡ 文構造(SVOC、主述関係)を踏まえた英文理解が可能になる
英文読解につながる〈文法力〉〈語彙力〉を身につける

Praxisを使った授業 ... :

長文の中の入試頻出の文法を生徒の理解度に合わせて扱う
➡ 〈文法理解〉が下支えとなり、4技能の活動のパフォーマンスが向上する

おわりに...

ご清聴ありがとうございました。

Praxisは「生徒にとって大変な」問題集であると思います。
でも、何かを成し遂げようとおもうなら、それを乗り越える必要があるのではないかと考えて作りました。

先生方の日々のご指導の参考になれば幸いです。

また、本日の発表について、ご意見を頂けると幸いです。